

令和2年3月23日

兵庫県内や近接する大阪府内においても新型コロナウイルス感染症の患者数が増加しており、神戸市内でも複数の小規模患者クラスターが発生している。

こうした患者数の動向や、政府の専門家会議による「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」(令和2年3月19日)を踏まえ、爆発的な感染拡大(オーバーシュート)が神戸市で発生することがないように、感染拡大防止に向けて最大限の努力を継続する。

一方で、感染拡大のリスクが低いと考えられる活動については、子どもたちの居場所づくりを進めるとともに、市民の暮らし、経済活動等をできる限り維持していく努力も続ける。

このため、本市としてこれまでの措置に加え、以下の措置を講ずることとする。

1. 感染拡大防止及び医療確保への取り組み

既に発生済みの2か所の小規模患者クラスターについて、濃厚接触者や施設利用者への健康観察を徹底し、新たなクラスターを発生させないように、封じ込めに全力を傾注する。必要な措置が完了したことが確認できたクラスターについては、風邪等の有症者の利用を禁止したうえで、施設の再開等を進める。

今後、患者数が増加することも想定し、重症化した患者、あるいはそのリスクの高い患者に対し、適切な医療を確保するため、高水準の医療サービスを提供する市内の医療機関との連携調整を強化する。

風邪等の症状がある方は、まず自宅で経過を見ていただき、症状が長く続く方やその心配がある方は、市の相談窓口への相談をしていただく。

海外からの帰国者の感染事例が全国的に増加していることから、帰国者に対し、風邪症状の時は外出を控えていただくとともに、不安がある場合は市の相談窓口への積極的な相談を呼びかける。

2. 市民に対する呼びかけの徹底

全国の感染事例においては、風邪症状が出ながらも仕事を続け、結果的にほかの方を感染させてしまった例が少なくないことから、「風邪症状が出たら休む」ことを社会全体で徹底いただく。

これまでクラスターの発生が確認されたのは、①換気の悪い密閉空間、②人が密集していた、③近距離での会話や発声が行われた、という3つの条件が同時に重なった場であることを踏まえ、こうした条件が重なる空間への外出やイベントの開催は避けていただく。

これらについて、市の広報媒体を通じ、市民に対する呼びかけを徹底する。

3. 市有施設について

市立図書館、博物館、美術館については、現行の感染防止のための方策を徹底しながら、開館を継続する。

その他の市有施設については、原則としてこれまでと同様の措置を3月31日(火)まで継続する。

4. イベント等について

3月31日(火)までの市主催イベント等については、不要不急のものについて開催を延期・中止する。

都市公園においては、花見期間中は、一般花見客の来園・食事は妨げないが、飲酒の禁止を要請する。また、滞留防止のため、露天等の出店は不可とする。

トップページ→市民のみなさまへ→

市民のみなさまへ（市長メッセージ）

兵庫県内や近接する大阪府内において新型コロナウイルス感染症の患者数が増加しており、神戸市内でも複数の小規模患者クラスターも発生しています。一方、本日 10 時現在で 24 名（神戸市発表分）の患者のうち、既に 6 名の方が退院しておられます。

現在、市内の関係機関が力をあわせて、クラスターが次のクラスターを生みださないようにすること、重症化した患者に対し、適切な医療を提供することに重点的に取り組んでいます。

爆発的な感染拡大（オーバーシュート）が神戸市で発生することがないように、感染拡大防止に向けて最大限の緊張感を持って、そして冷静に対応していかねばなりません。一方で、感染拡大のリスクが低いと考えられる活動については、子どもたちの居場所づくりを進めるとともに、市民の暮らし、経済活動等をできる限り維持していく努力もしてまいります。

以下の事項について、市民の皆様のご理解ご協力をよろしく願います。

- 1) 風邪症状が出たら、必ず休みましょう

全国の感染事例においては、風邪症状が出ながらも仕事を続け、結果的にほかの方を感染させてしまった例が少なくありません。仕事への責任感から風邪くらいで仕事を休めない、という発想を切り換え、「風邪症状が出たら休む」ことを社会全体で徹底しましょう。発熱、咳、だるさなど風邪症状が出たら、仕事や学校を休み、くれぐれも人の集まる場所に外出しないでください。

2) 集団感染を防ぎましょう

政府の専門家会議によると、これまでクラスターの発生が確認されたのは、①換気の悪い密閉空間、②人が密集していた、③近距離での会話や発声が行われた、という3つの条件が同時に重なった場です。こうした条件が重なる空間への外出やイベントの開催は避けてください。

3) 必要な PCR 検査は実施しています

神戸市には、PCR 検査を行うことができる市の組織として環境保健研究所があります。現在までに 300 件を超える検査を実施し、検査試薬も十分に備えています。

感染拡大を防ぐとともに、感染症患者に適切な医療を提供するためにも、現在も、医師が必要と判断したもの、患者との濃厚接触者のうち熱や咳などの症状がある方などへの必要な検査は実施していま

す。また、陽性と判定され入院された方には、症状がなくなってから2度、PCR検査で陰性を確認したうえで退院いただいています。

4) 感染拡大防止に関する必要な情報提供を行っています

感染への不安から、患者の居住地や立ち寄り先などの詳しい情報を知りたくなる気持ちは理解できます。一方で、患者のプライバシーを守ることは、感染拡大防止に必要な情報を患者から保健所が聞き取らせていただくためにも不可欠です。

神戸市ではクラスター発生が懸念されるような事案（認定こども園のケース）などについては、当該施設の名称を含め、関連情報を速やかに公表して濃厚接触者の健康調査などを行っています。感染拡大防止に必要な情報はしっかりと提供してまいります。

5) 神戸の医療の力を結集します

神戸には、感染症指定病院である神戸中央市民病院をはじめ、多くの病院・医療機関があり、今回の肺炎治療に対しても高水準の医療サービスを提供する力があります。

新型コロナウイルス感染症の患者を診察できる帰国者・接触者外来（保健所等からのあっせんで受診いただくため、病院名は非公表です）も、当初の1か所から6か所に増設しています。

一方、軽症の患者の方で医療機関があふれると、重症の方の治療が

適切に確保できなくなる恐れがあります。このため、風邪等の症状がある方はまずは自宅で経過を見ていただき、症状が長く続く方やその他の心配がある方は、24時間対応している市の相談窓口（リンク）にまずご連絡ください。

また、海外からの帰国者の感染事例が全国的に増えています。風邪症状の時は外出を控えてください。不安のある方は、電話で市の相談窓口（リンク）までご相談ください。

6) 子どもの居場所づくりを進めます

学校休業中においても、保育所、学童保育については継続しています。部活動は、平日の週2日まで、1日あたり2時間以内に限り、中学校は3月26日から、高等学校は3月24日から再開します。学校施設開放事業も一部再開します。神戸の資源を活用し、地域・NPO等が行う子ども向けの野外活動プログラムを提供します。

7) 市のイベント・施設などの取り扱い

3月31日まで、市主催イベントについては、不要不急のものについて開催を延期・中止します。

図書館、博物館、美術館は一部サービス提供を除き、開館を継続します。その他の市有施設については、閉鎖など現行の取扱いを3月31日まで継続します。

都市公園は開園しますが、花見期間中、飲酒の禁止を要請します。

市民のみなさまのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

令和2年3月23日

神戸市長 久元 喜造